

1. 令和3年度のトラック輸送における取引環境・労働時間改善秋田県協議会の対象輸送分野の検討及び「首都圏向け青果物輸送に係る実証実験」の実施について

【協議事項】

資料1【通達】1. (1). ①の対象輸送分野(ア)～(オ)のうち、『(ウ)過去の重点取組事項や実証事業のフォローアップを実施する必要があると考えられる輸送分野』とし、対象分野を「生鮮食品」、品目を「農産物」として、「首都圏向け青果物輸送に係る実証実験」を実施する。

〔理由〕

「秋田の未来の物流を考える協議会」の下に「農林水産物流検討ワーキンググループ」が設置され、秋田県の主要産業である農林水産において、長時間労働等課題改善に向けた検討が行われている。将来的にドライバーの高齢化や人材不足による物流の停滞が強く懸念されている中、秋田県内の青果物については、主に首都圏向けに出荷されており「働き方改革」に伴うドライバーの拘束時間短縮及び「改善基準告示」遵守に向けた諸課題及び出荷量等の情報不足による非効率な配車等、集荷業務の見直しの必要性が生じてきていることから、実証実験を通じてより効果的・持続的な輸送体制の構築に向けたモデル作りの取り組みが必要であると考えられるため。

〔首都圏向け青果物輸送に係る実証実験概要〕

- ①実施予定時期 令和3年11月7日(日)～13日(土)
- ②実施予定地域 秋田県由利本荘市・にかほ市・大仙市・仙北市・湯沢市・横手市・美郷町・羽後町・東成瀬村等
- ③対象集団 荷主：全農秋田県支部（JA秋田おぼこ、JA秋田ふるさと、JAこまち、JAあきたしんせい管内）
運送事業者：全農物流（株）、羽後運送（株）、川連運送（株）等
- ④実証実験内容 首都圏市場向けに集荷、幹線輸送している青果物の「集荷・幹線の分離」及びICTの導入等で効率化の検証を行う。
- ⑤見込める効果 幹線ドライバーの拘束時間短縮、最終出荷拠点集約による幹線便の積載効率の向上、ICT導入による配車計画の時間短縮とペーパーレス化、集荷・幹線車の効率化（減車）によるCO2削減等

なお、具体的な実施内容については、今後検討を進めて参ります。